

# 駒大サッカー一部影の立役者～コーチ編～

大学サッカー界、屈指の強豪と呼ばれる駒大。ここまで辿り着くには華々しい栄光の裏にある、たくさんの方の助け、努力、苦悩があったからこそ今日がある。

駒大のために頑張る、普段は影に隠れがちなスタッフにスポットを当ててみた。

200号記念

コーチ陣特別インタビュー

- ◆ 岡田 誠史
- ◆ 杉山 英嗣
- ◆ 岩本 哲也
- ◆ 岩崎 直

秋田監督と共に指導と言う形で駒大を支えるコーチに話を聞いた。



## 岡田 誠史

名前:おかだ せいじ  
 生年月日:1968年9月20日生  
 出身地:東京都  
 経歴:法政大学法学部卒  
 好きな選手:ギンター・ネツツア  
 好きな言葉:「夢=目標=努力」

### 旅が好き

「コーチになる前は旅をしてきたんだ。駒大に来る直前までは海外でひとり旅をしてたんだ。きっかけは女にふられて(笑)。旅はずーっとしたくて、ふらっというんなどこに行つたかな。旅は好きなんだよね。」

大学2年の時に休学して1年くらいトルコに住んだ。トルコでサッカーでもやるうかかって思ってたね。だからトルコ語は話せるよ。今、思うと楽しいことしかなかったかな。あっちにいる時はいろいろ大変なことがあったけど、毎日が成長しているのが分かった。今ずっと日本にいてめるま湯だよ(笑)。

### 秋田先生との出会い

秋田先生とは、俺の友達と一緒にサッカーやろうって言ってその時の監督だったのよ、知り合ったんだよね。秋田先生がヨーロッパに勉強しに行くって言って、イギリスに1ヶ月一緒にいて、その後オランダに10日くらい、イタリアに1ヶ月、ずーっと一緒にいたんだよね。で、手伝わってくれて言われて1997年に駒大に来た訳。

先生と出会ってもう相当経つし、コーチになって11年ずっと一緒にいるけど、人間的にも尊敬できるし、楽し

いんだよ。でもいつも怒られてるよ。俺いい加減なんだよね(笑)。

俺が駒大に来た時は今では想像出来ないよ。『チームのために』とかなかったし、みんなプロになるためにサッカーやってたよ。応援にも来ないし、校歌唄えるやつもないし、まともにもなくてみんな茶髪にピアスであれはひどかったよ。みんな個人主義で感じ。今、新潟にいる内田(潤)が4年生くらいの時にやっまとまわりがでてきたのかな。秋田先生が関わった年数が多いとままとまってくる。

今年の駒大:何かばつとしないよね。昔の駒大は大変な試合は絶対に落とさなかったよね:今年もそうだしね。一番回んだのは去年の最終節の流経だよ。0-0で勝てば優勝だったし、会場が駒大の優勝を確信していたのに勝てなかった。あの時本当に辞めたくなくなったもんな。まあ指導力不足なのはこっちなんだけどさ。今の駒大には仲間を思う気持ちとかが足りないんだよ。応援だつて全員が一生懸命じゃないもん。ダメだよ。

俺、夢は叶わないから『夢』って言うんだと思う。奇跡は起きないから『奇跡』って言うんだよ。奇跡じゃなくて全て必然なんだと思

う。人一倍努力してるから、目標が達成する。夢と書いて目標と読み、目標と書いて夢と読む。努力しているから夢が叶う、必然なんだよね。

### FORZA駒澤

俺、FORZA1号から持つてるよ。集めてたんだよね。ファイルにしてたんだけど、3年くらい前から辞めちゃったんだけど、今年1回も読んでないよ!?

でもさーコマス求偉いよね!。練習試合誰が点取ったとかまで見てるじゃん。俺らは『今日こいつ頑張ってるな』『くらいしかわからないもんな。これからもよろしくお願ひします。頑張ってるね。俺初めてなんだよこういうの。本当は苦手なんだよね!。話すの下手だし。もうこういうのやらないよ!』(笑)。

